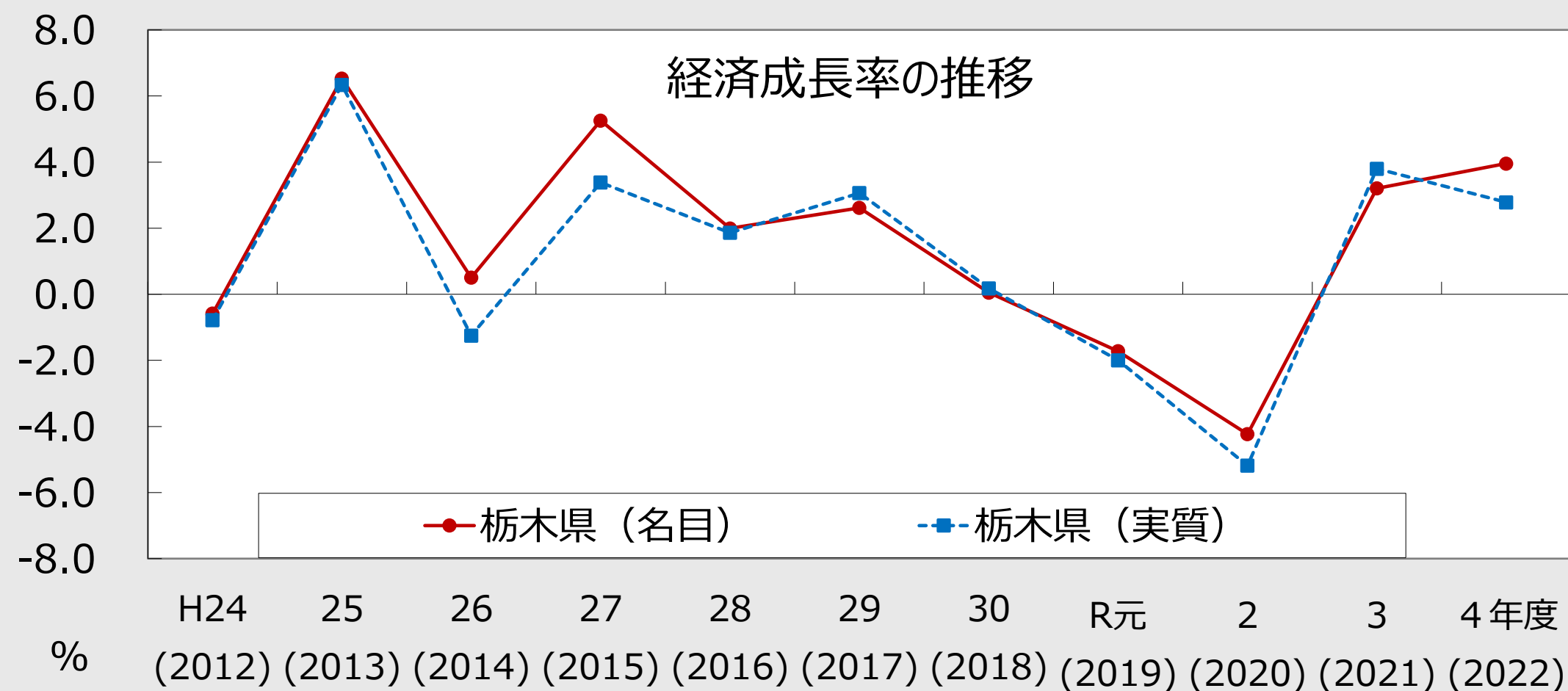


令和4(2022)年度 とちぎの県民経済計算(概要)について

◆令和4年度の県内総生産は、名目、実質ともに2年連続の増加

県内総生産
(名目) 9兆5,962億円
(実質) 9兆4,554億円

経済成長率
(名目) +4.0%
(実質) +2.8%



◆1人当たり県民所得も2年連続の増加

1人当たり県民所得 343万5千円 (前年度比+3.9%)

★ ★ 栃木県子ども総合科学館ネーミングライツパートナーの決定

(1) ネーミングライツパートナー

株式会社コジマ

(2) 愛称

コジマ子どもサイエンスパーク

(3) ネーミングライツ料

年額1,000万円 (消費税及び地方消費税を含む)

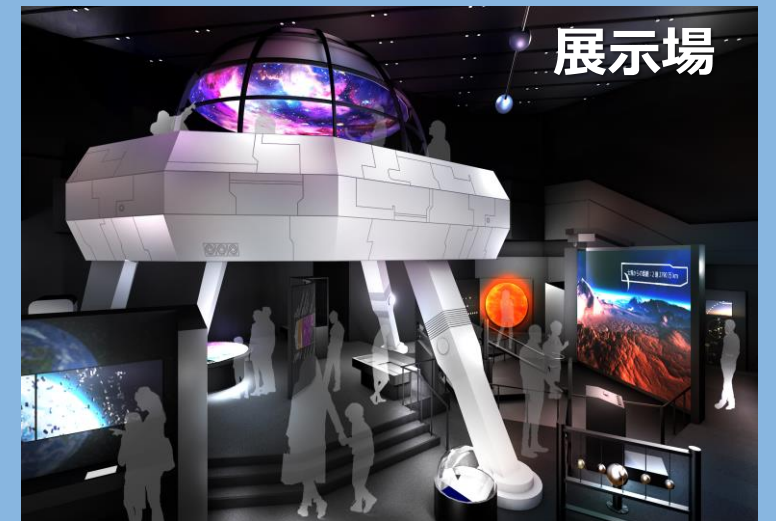
(4) 期間

5年間

プラネタリウム



展示場



(リニューアル後イメージ図)

栃木県子ども総合科学館
マスコットキャラクター「未来くん」



試験的フレックスタイム制の全庁試行について

職員のワーク・ライフ・バランスの推進等を図るため

○令和7年6月と7月の2か月間、全庁で試行

○年次休暇等と組み合わせることにより

疑似的に選択的週休3日を体験することが可能

対象職員	全職員 ※交代制勤務職場や育児短時間勤務職員等を除く
コアタイム	10：00～15：00
フレキシブルタイム	7：30～10：00、15：00～19：00
週休日	土曜日、日曜日
選択的週休3日を体験する場合	1週間ごとに1日を限度として、年次休暇等と組み合わせることにより、1日の勤務時間のすべてを勤務しない日を設けて実施可

女性活躍推進フェローによる幹部向けセミナー概要

実 施 日:令和7(2025)年5月26日(月)

講 師:栃木県女性活躍推進フェロー 藤井 佐知子 氏

受講対象:知事、副知事、各部局長(各局含む)、教育長、警察本部長

テ ー マ:今進めるべき女性活躍推進

内 容:①日本の現状(データに基づくジェンダーギャップの把握)
②「令和モデル」の構築(新しい生活様式、働き方への変容
に向けたジェンダー・ギャップの解消の必要性)
③地方(栃木県)に期待される取組